



学校通信

No. 153

～朝会で…～

2月3日（火）に予定していた2月の朝会ですが、6年生が学年閉鎖のため、5日（木）に延期し、リモートで行いました。そこでは、市内書写展、美術展の表彰も行いました。表彰されたみなさん、おめでとう！！書き始めや図工の学習、西神吉っ子みんながよくがんばりました。

さて、今回の私からのお話は『ノミの話』です。

ピッカリ！
ピッカリ！



朝会で話したこと

西神吉っ子のみなさん、おはようございます。

始業式、それから1月の朝会では、大きく成長するために積極的にチャレンジし、努力をしよう、そのために、自分で『心のスイッチ』を見つけて、スイッチを入れようというお話をしました。心のスイッチを入れることはできていますか？

さて、突然ですがみなさんに問題です。

「世界で一番ジャンプができる生き物」って何だと思いますか？

ヒントは、体調2ミリくらい、砂粒みたいに、とっても小さな虫です。正解は『ノミ』です。イヌとかネコの毛の隙間についていることが多い生き物です。

そんな小さなノミですが、とんでもないパワーを持っています。ジャンプ力が凄いんです。自分の身長の100倍以上の高さを一気に跳べるそうです。もし、これを人間が跳んだとすると、なんと200m以上、なんなんと30階建てのビルの高さを跳ぶという、驚異的なジャンプ力なんだそうです。

さて、ここからが今日一番伝えたいお話です。

このすごいジャンプ力を持つノミを、小さなカップの中に入れて、フタを閉めておくとどうなると思いますか？ノミは外に出たくて何度もジャンプするけれど、そのたびに「ゴン！」ってフタに頭をぶつけてしまいます。

それをしばらく続けてからフタを外すと、不思議なことが起こります。もうフタはないのに、ノミはカップの高さまでしか跳ばなくなってしまいます。ノミは自分の中で『僕はこれ以上跳べないんだ』って決めつけてしまうのです。もったいないですよね。本当は軽く飛び出せる力があるのに！

このことは、人間も同じかもしないなって思います。何か一回失敗したり、誰かに「無理だ」と言われたりすると、『自分はこれくらいしかできないんだ』と、自分の中に見えないフタを作ってしまうことがあります。

でも、ノミをまた高く跳ぶようにする方法があります。元のように高く跳ぶには、どうすればいいと思いますか？

それは、『高く跳んでいる仲間のノミ』を隣で見せてあげること。それを見ると、跳べなくなったノミも『あ、僕も跳べるんだった！』と思い出して、また高く跳べるようになるのだそうです。

みんなも、もし『自分には無理かな』って思ったら、今日のお話を思い出して、一生懸命頑張っている友達を見てほしいと思います。そして、あなたが、その子の前で『高く跳ぶノミ』になってあげてほしい。『大丈夫だよ、一緒に跳ぼうよ！』と、あなたが一生懸命頑張る姿を見てあげてほしい。特別なことができなくてもいいんです。あなたが何かに夢中になったり、誰かに優しくしたりするその姿が、誰かの閉じ込めていたフタを外す、魔法のジャンプになるはずです。

西神吉っ子、ひとりひとり、それぞれがほんの少しの勇気で高く跳んでほしい。あなたがどこかで高く跳べば、それを見た誰かがまた高く跳べるようになる。そうやって勇気はつながっていくんだと校長先生は思っています。

今年度もあと2か月。残りの登校日数は、今日を入れてあと30日です。みんなのジャンプが、あなたのジャンプが、誰かの力になることを信じています。

これで校長先生のお話を終わります。（この後、保健と生徒指導の先生から、感染症対策と安全な生活についてお話をありました）

